

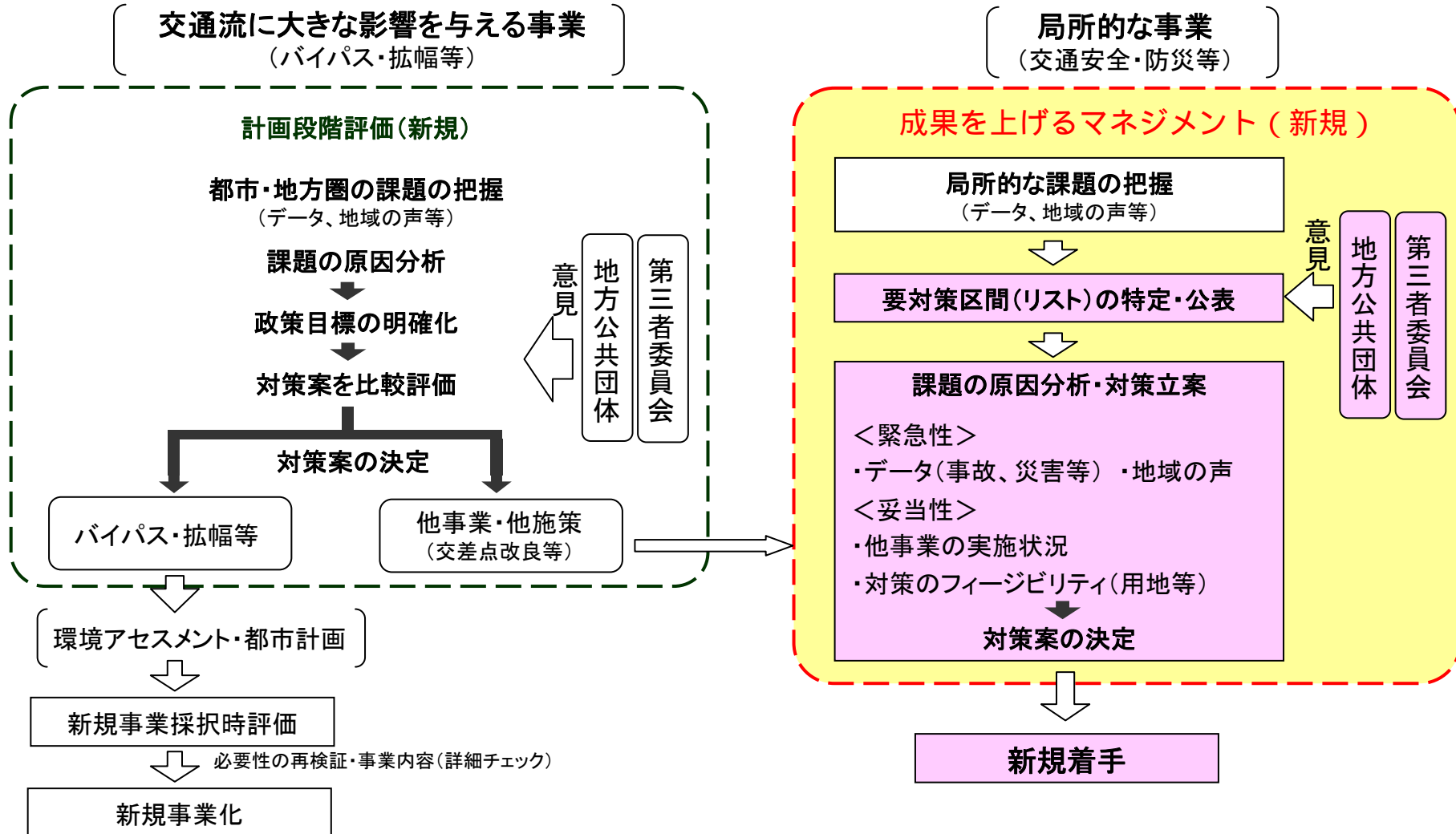
【報告】

事故ゼロプランの取り組みについて

平成23年5月20日

九州地方整備局

○道路事業の透明性・効率性を高めるため、バイパス・拡幅事業等に計画段階評価を導入するとともに、局所的な事業に対し、データ等に基づく「成果を上げるマネジメント」の取組みを導入。



- 選定された九州の1,780区間において、事故データに基づく区間が約7割、市民等からの指摘区間(潜在的危険区間)が約3割となっている

	事故データに基づく選定区間数	市民等からの指摘に基づく選定区間数	選定区間数合計
福岡県	1 8 2	5 4	2 3 6
佐賀県	1 5 5	9 4	2 4 9
長崎県	1 5 1	3 2	1 8 3
熊本県	2 6 2	7 4	3 3 6
大分県	1 8 8	7 3	2 6 1
宮崎県	1 1 6	6 5	1 8 1
鹿児島県	2 2 3	1 1 1	3 3 4
合計	1,277	503	1,780
(全国)	(10,461)	(3,842)	(14,303)

※両方に該当する区間は事故データに基づく区間に集計

○ 事故危険区間リストの中で、代表的な区間を抽出し、ホームページ等で公表



Press Release
平成22年12月27日
九州地方整備局

“事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)”九州で始動
～九州の全県で「事故危険区間」を選定～

- 九州管内の直轄国道における交通事故の約70%が、特定の区間(約3割)で発生しています。
- このような交通事故が多発する特定の区間等に対して、集中的・重点的に交通事故対策に取り組むことで、交通事故の撲滅を目指す「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」を推進します。
- 各県において、直轄国道で交通事故が多発している区間、歩道がない通学路で児童が危険にさらされている区間等を事故データやアンケート調査等により抽出し、学識経験者等から構成される第3者委員会で審議頂き、「事故危険区間」(各県毎に概ね200～300区間)として決定しました。

○今後は、「事故危険区間」について、交通事故の発生状況や歩行者等の利用状況を調査し、事故分析を行った上で事故原因に即した効果の高い対策を検討・実施していきます。

○なお、各県において選択した「事故危険区間」については、代表的な50箇所程度を事例として公表しています。

問い合わせ先 国土交通省 九州地方整備局 道路部 交通対策課
課長 丸久 哲郎(内線4511)
課長補佐 斉藤 啓嗣(内線4512)
tel: 092-471-6331(代表)

福岡県「事故危険区間リスト」

事故危険区間リスト抜粋(50箇所) 位置図



道しる番号	路線名	住所	交差点名	事故対策	歩道整備
1	国道3号	北九州市小倉北区	三軒野	●	●
2	国道3号	北九州市小倉北区	清水	●	●
3	国道3号	北九州市八幡東区橋本2丁目	-	●	●
4	国道3号	厚狭町旧津1丁目(2)	-	●	●
5	国道3号	筑後市	真地渡	●	●
6	国道3号	糟屋郡	-	●	●
7	国道3号	糟屋市	上野郷	●	●
8	国道3号	糟屋市	千鳥ハークタウン西	●	●
9	国道3号	糟屋市東区	松茂	●	●
10	国道3号	糟屋市博多区	種田	●	●
11	国道3号	糟屋市博多区	種田2丁目	●	●
12	国道3号	糟屋市博多区	千鳥橋	●	●
13	国道3号	糟屋市博多区	築船1丁目	●	●
14	国道3号	大野城市	御笠川6丁目	●	●
15	国道3号	大野城市	宮田	●	●
16	国道3号	久留米市	八軒理	●	●
17	国道3号	古賀市	-	●	●
18	国道3号	古賀市	-	●	●
19	国道3号	八女市	丸久	●	●
20	国道3号	糟屋市東区	松茂	●	●
21	国道3号	糟屋市東区	下臼井	●	●
22	国道3号	糟屋市東区	新二又通	●	●
23	国道10号	北九州市小倉北区	城野	●	●
24	国道10号	北九州市小倉南区	栗川	●	●
25	国道10号	行徳市	-	●	●
26	国道200号	北九州市八幡西区	赤井	●	●
27	国道200号	糟屋市	種田	●	●
28	国道200号	糟屋市	種田	●	●
29	国道201号	糟屋市	赤井	●	●
30	国道201号	糟屋市	赤井	●	●
31	国道201号	糟屋市	赤井	●	●
32	国道201号	糟屋市	赤井	●	●
33	国道201号	糟屋市	赤井	●	●
34	国道202号	糟屋市	赤井	●	●

大分合同新聞(朝刊21面) 平成23年1月7日(金)付け

261区間 危険リスト入り

国土交通省大分・佐伯事務所が管理 事故多発の国道

国土交通省大分・佐伯のていく方針だ。危険区間の設定は、事故多発の国道(10、37、防止と公共工事の効果を高めるのが目的。県内の国道261区間を、事故危険区間で発生した交通事故や、歩道、通学路の状況、地元自治体や警察などからの意見を基にリストを作った。

大分河川国道事務所によると、県が管理する国道10号の一部(大田原北交差点～下臼井)を、05年に発生した交通事故件数は、05年に142件、06年130件、07年134件、08年129件、年々減少傾向にあるが、特定の箇所で事故が集中して起きやすいという。

危険区間のうち国道10号下臼井交差点(大分市)は、▽道路がたなな交差のため、△スピードを出しやすい▽側道に入る道路表示が分かりにくいため、急な進路変更を繰り返す理由で、4年間での29件の人身事故が起きている。

「右折レーンの設置や歩道の拡幅などの要望も多くのリスナーに寄せられている。危険を感じている箇所があったら連絡してほしい」と同事務所関係者は、同事務所対策課(☎097-546-4339)で、

- 【公表内容】
- 区間数、代表区間
- 抽出の考え方
- 今後の取組方針等

- 事故対策が必要な区間と、歩道整備が必要な区間を「安全」と「安心」の視点から抽出
- 整備効果が大きく整備が早い区間を抽出し、「事故危険区間リスト」として選定

県内データ分析

死傷事故データ

死傷事故率
死傷事故件数
死亡事故件数 等

歩道関連データ

歩道幅員
法指定、学校指定通学路
死亡事故件数 等

地元の声

自治体からの要望
アンケート調査 等

事故対策が必要な区間

安全

事故データ等による抽出

- 事故が多く発生
- 被害が大きい
- 事故課題が大きい

安心

データ以外による抽出

- 住民が不安を感じている
- ヒヤリハットが多い
- 確実に効果が望まれる

効果の大きさ

整備の早さ

- 早期に対策が可能
- 早期に整備効果が発現

- 早期に対策が可能
- 早期に整備効果が発現

歩道整備が必要な区間

安全

道路データ等による抽出

- 利用者が多い
- 歩行者が事故に遭っている

- 早期に対策が可能
- 早期に整備効果が発現

安心

データ以外による抽出

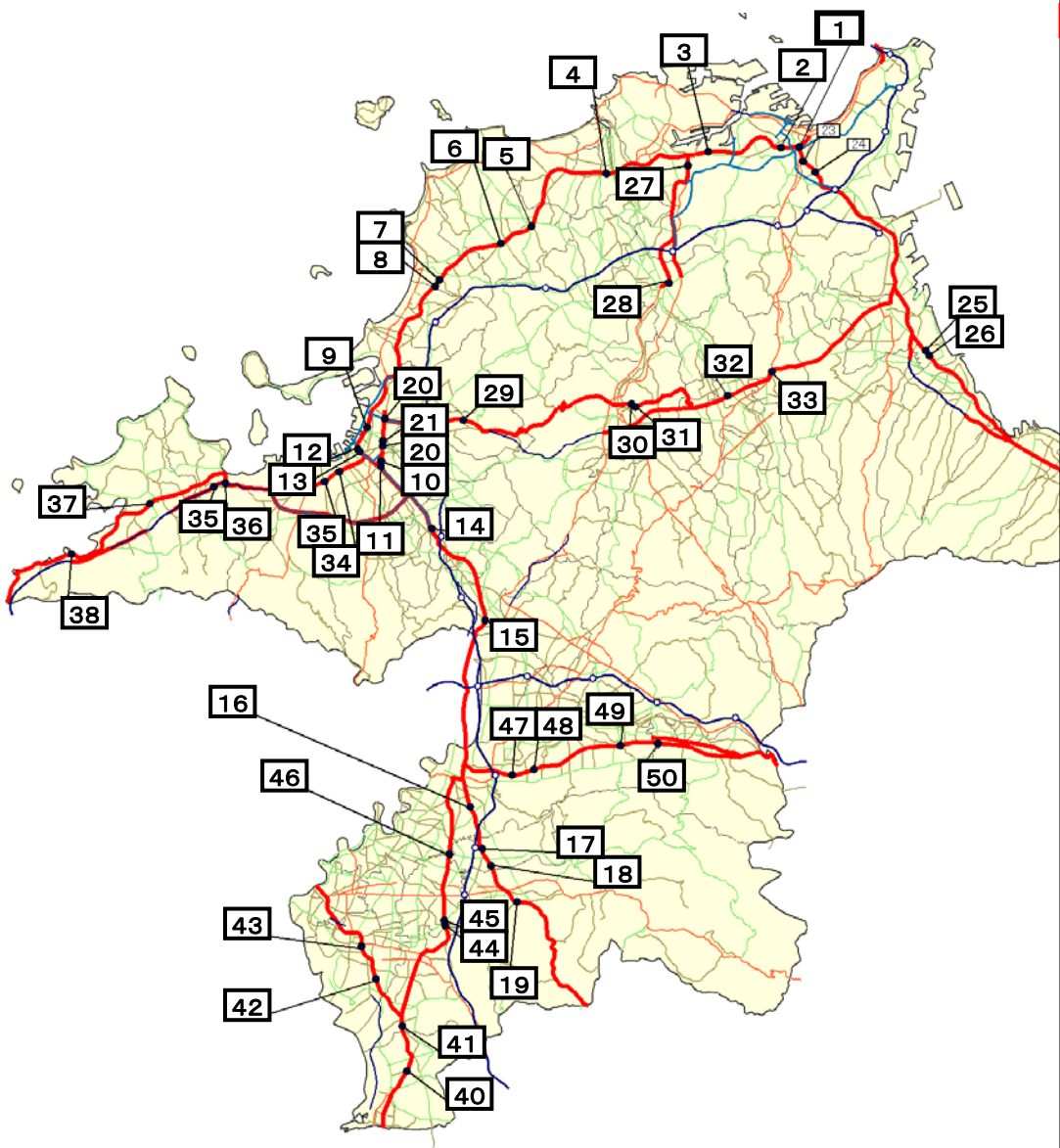
- 住民が不安を感じている
- ヒヤリハットが多い
- 確実に効果が望まれる

- 早期に対策が可能
- 早期に整備効果が発現

事故危険区間リスト(ロングリスト)

代表的な事故危険区間の公表(福岡県の具体例)

～福岡県「事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)」(抜粋50箇所)～



通し番号	路線名	住所	交差点名	事故対策	歩道整備
1	国道3号	北九州市小倉北区	三萩野	●	●
2	国道3号	北九州市小倉北区	清水	●	●
3	国道3号	北九州市八幡東区桃園2丁目	—	●	●
4	国道3号	遠賀町旧停1丁目(2)	—	●	●
5	国道3号	宗像市	富地原	●	●
6	国道3号	宗像市光岡	—	●	●
7	国道3号	福津市	上西郷	●	●
8	国道3号	福津市	千鳥パークタウン北	●	●
9	国道3号	福岡市東区	松原	●	●
10	国道3号	福岡市博多区	榎田	●	●
11	国道3号	福岡市博多区	榎田2丁目	●	●
12	国道3号	福岡市博多区	千鳥橋	●	●
13	国道3号	福岡市博多区	堅粕1丁目	●	●
14	国道3号	大野城市	御笠川6丁目	●	●
15	国道3号	筑紫野市	原田	●	●
16	国道3号	久留米市	八軒屋	●	●
17	国道3号	広川町新代(1)	—	●	●
18	国道3号	広川町新代(2)	—	●	●
19	国道3号	八女市	丸野	●	●
20	国道3号BP	福岡市東区	松島	●	●
21	国道3号BP	福岡市東区	下臼井	●	●
22	国道3号BP	福岡市東区	新二又瀬橋	●	●
23	国道10号	北九州市小倉北区	城野	●	●
24	国道10号	北九州市小倉南区	湯川	●	●
25	国道10号	行橋市道場寺	—	●	●
26	国道10号	行橋市稲童(1)	—	●	●
27	国道200号	北九州市八幡西区	幸神	●	●
28	国道200号	直方市	西尾	●	●
29	国道201号	篠栗町	篠栗北	●	●
30	国道201号	飯塚市	立岩	●	●
31	国道201号	飯塚市立岩(3)	—	●	●
32	国道201号	田川市川宮(2)	—	●	●
33	国道201号	香春町	清瀬橋	●	●
34	国道202号	福岡市中央区	警固	●	●
35	国道202号	福岡市城南区	中村大学前	●	●
36	国道202号	福岡市西区	今宿大塚	●	●
37	国道202号	糸島市荻浦	—	●	●
38	国道202号	糸島市二丈福井(2)	—	●	●
39	国道202BP号	福岡市西区	徳永	●	●
40	国道208号	大牟田市	銀水駅前	●	●
41	国道208号	みやま市	下楠田	●	●
42	国道208号	柳川市	大和中北	●	●
43	国道208号	柳川市	西鉄柳川駅前	●	●
44	国道209号	筑後市	船小屋	●	●
45	国道209号	筑後市	尾島中町	●	●
46	国道209号	筑後市	一条	●	●
47	国道210号	久留米市山川安居野	—	●	●
48	国道210号	久留米市	緑花流通センター入口	●	●
49	国道210号	久留米市	栄町3丁目	●	●
50	国道210号	久留米市	樋ノ口	●	●

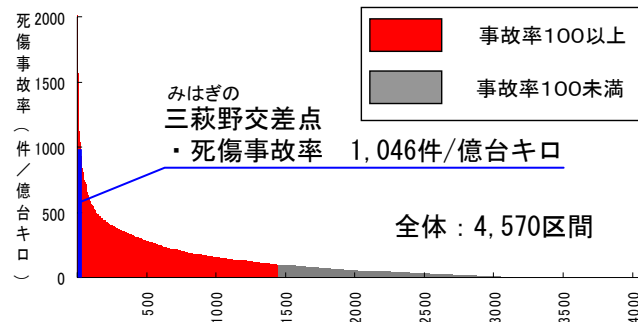
事故発生状況：死傷事故率1,046件/億台キロ、死傷事故件数40件/4年（H17～20事故）

事故発生要因の分析・対処すべき課題

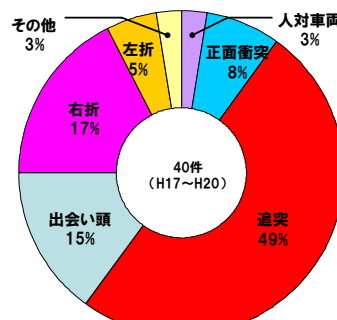
- ・北九州市の中心部に位置し、国道3号と国道10号が交差する大規模交差点。
- ・国道10号上にはモルレルが占有し、交差点面積が大きく、国道3号は交差点内で線形が折れている。

【事故発生要因】

- ① 交差点内の動線の不明瞭により、直進車の急な減速・車線変更による追突事故が発生。
- ② 右折車線からはみ出て滞留する車両による追突事故も多発。



▲福岡県内の死傷事故率 (H17～20)



▲死傷事故件数の内訳 (H17～20)

特徴的な事故②

右折レーンからはみだし

・右折車線からはみ出て滞留する車両による追突事故

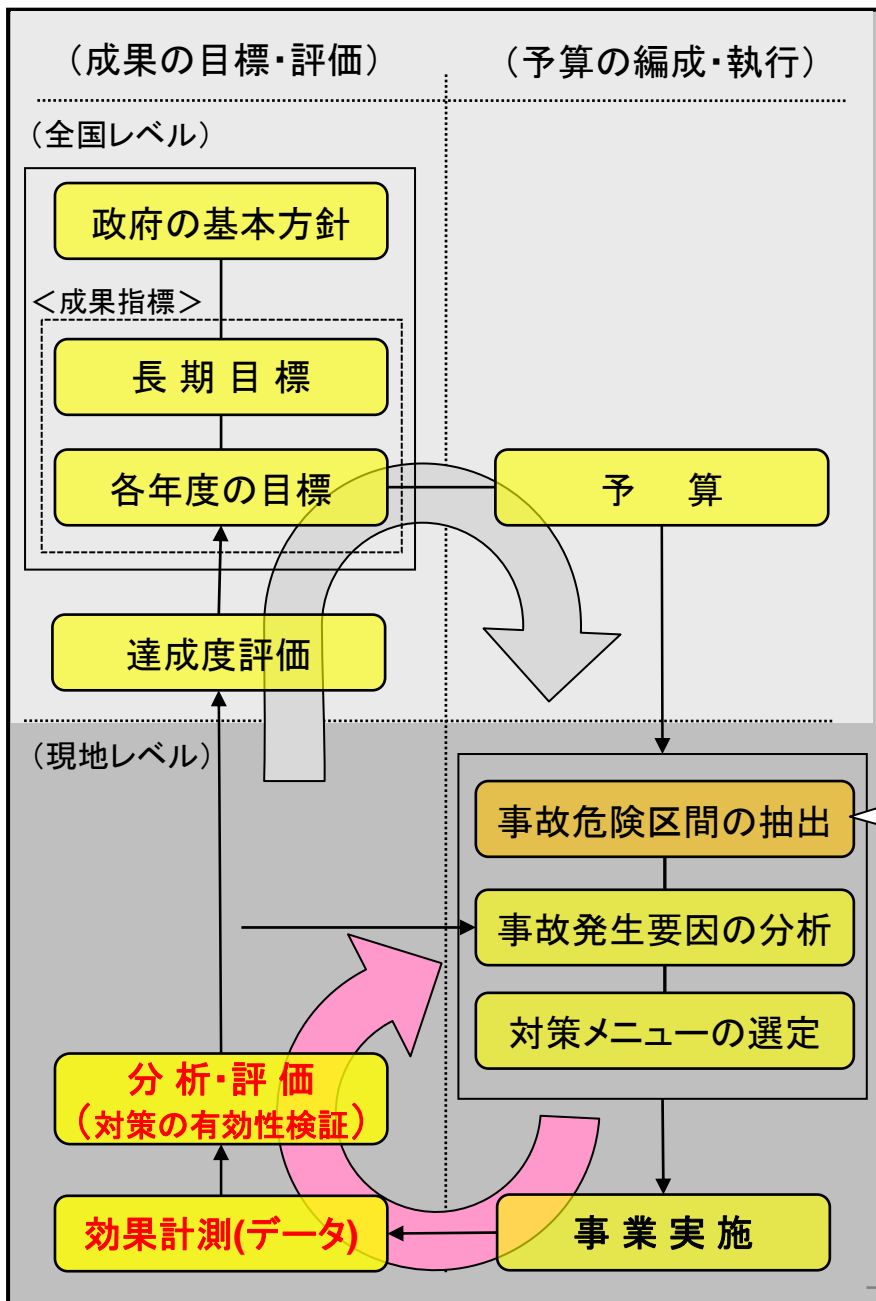


特徴的な事故①

急停止 異常接近

・直進車の急な減速、車線変更による追突事故
・右折車と直進車との衝突事故





- 交通安全分野における「成果を上げるマネジメント」を『事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)』として展開
- 「選択と集中」、「市民参加・市民との協働」により重点的、集中的に対策を講じることにより効果的、効率的に推進

1. 事故の危険性が高い区間を明確化

①事故データに基づく区間

死傷事故率、重大事故等の発生件数等

②潜在的な危険区間

地域住民、利用者、市町村等からの指摘等

⇒ **全国で14,303区間を選定(九州1,780区間)**

(学識者、関係者等からなる委員会から意見を聴取)

2. 情報の共有化(利用者に危険箇所を認識してもらうことで事故削減にも期待)

①代表的な事故危険区間の公表

②注意喚起看板の設置

③地域住民・関係機関等との合同現地点検

※効果計測(データ)、分析・評価(対策の有効性検証)を継続し、PDCAサイクルを確立